

畑地かんがい現地研修会を開催しました

令和6年9月18日、県営畑地帯総合整備事業「下結城地区」（八千代町）の実証圃場において、畑地かんがい現地研修会を開催しました。

研修会には霞ヶ浦用水受益農家の方や県・市町関係機関の方など62名の参加があり、参加者へ当協議会から用水を使用したキャベツ栽培のかん水効果を説明し、結城地域農業改良普及センター様より病害対策について説明しました。

また、かん水資機材を販売している株式会社イーエス・ウォーターネット、住化農業資材株式会社に協力をいただき、かん水資機材（レインガンや散水チューブ等）の使用方法的説明と、畑総事業により整備された給水栓に接続し、かん水実演を行いました。

畑地帯総合整備事業により整備された畑では、畑地かんがい施設の導入により用水を使用した計画的な営農や作業の効率化、品質や収量の向上を図ることが可能となり、今後の畑地整備の推進、用水利用の拡大が期待されます。



研修会の様子



レインガンかん水状況



チューブかん水状況